

「森林における自然災害にどのように対応するのか—最前線の研究成果とその対策」

【趣旨】

昨今、日本の各地で土砂災害などの自然災害が激甚化し、山地周辺に住む集落に甚大な人的物的被害をもたらしている。このような災害をもたらす原因として、過去には見られなかったような、集中豪雨やゲリラ豪雨が頻発することがあげられる。特に、山地での土砂災害は日本の林業問題と密接に関連している。本シンポジウムでは、林業経済学会、砂防学会、森林利用学会を主たる研究分野とする学会が集い、今まさに森林で起こっている自然災害の現状を報告してもらい、自然災害を防ぐために、専門家に何ができるのか考えてみたい。広くみなさまのご参加をお願いしたい。

【日程】2024年7月5日（金）13時00分開場（参加費無料）

13時30分～13時35分 開会 佐藤宣子（林業経済学会会長・九州大学）

13時35分～13時45分 趣旨説明 原田一宏（林業経済学会広報渉外担当理事・名古屋大学）

13時45分～14時25分 第1報告 御田成顕（森林総合研究所）

「災害に強い森林管理を誰が担うのか」

14時25分～15時05分 第2報告 五味高志（名古屋大学）

「流域的視点での森林管理・水土保全・土砂災害対策」

15時05分～15時45分 第3報告 宗岡寛子（森林総合研究所）

「気候変動下の森林路網」

15時45分～16時00分 休憩（セッティング）

16時00分～17時30分 報告者によるパネルディスカッション（座長 佐藤宣子・九州大学）

17時30分～17時40分 総評 執印康裕（砂防学会専務理事・九州大学）

17時40分～17時50分 総評 鈴木保志（森林利用学会副会長・高知大学）

17時50分 閉会

【総合司会】原田一宏（名古屋大学）

【会場】名古屋大学野依記念学術交流館カンファレンスホール2F 名古屋市千種区不老町
オンライン併用

【問い合わせ先】林業経済学会広報渉外担当 info[at]jfes.org

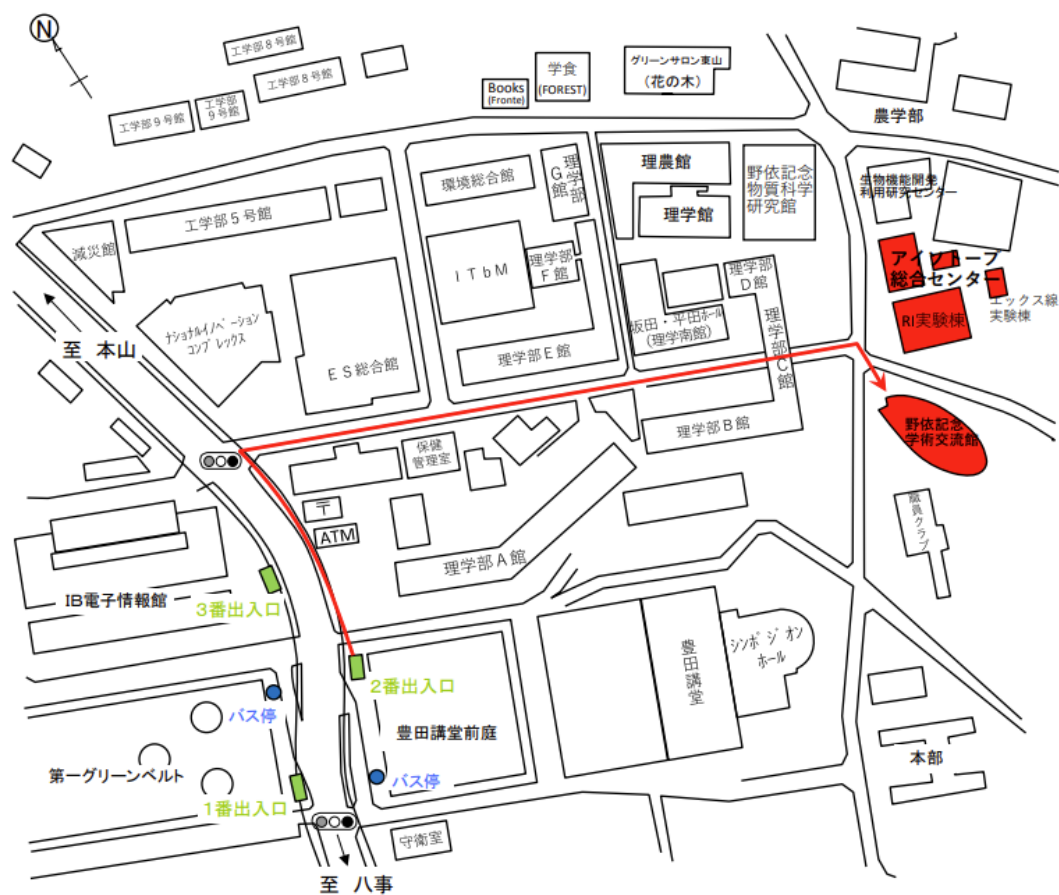
・参加申し込みは、

[シンポジウム参加申込フォーム \(google.com\)](https://www.google.com) あるいは右のQRコードから

参加費無料（参加申込：7月3日締切）



野依記念学術交流館への道順



* 市営地下鉄「名古屋大学」駅の2番出口から出て、道なりに歩くと右手に銀行ATMと郵便局があります。そこを過ぎたら信号を右折し、まっすぐ進み急な坂道を登りきると右手に野依記念学術交流館があります。(左手にはアイソトープ総合センターがあります。)